

クリーンセンターは生活の基盤 ごみの減量とリサイクルを積極的に 推進

総務常任委員長

筑井あけみ

当委員会は、6月7日
委員会を開催し、クリーンセンターの現況について調査した。

調査経過

玉村町のごみの量は、平成18年以降減少の一途をたどっている。新聞ダンボールなどの資源ごみは、町の収集と子供会による集団回収

取を実施している。ほかに、平成21年度から雑古紙の回収を4地区7カ所で実施するなど、リサイクルに取り組んでいる。

最終処分

焼却処理後の残渣と分別処理後の不燃物残渣は、草津町にある民間の最終処分場に処理を委託している。

この処分場は、平成31年までの計画で埋め立てを行う。

今後の課題

ごみの減量は、温室効果ガスの削減や、クリーンセンター・最終処分場の延命につながる。今後、広報紙で

の啓発活動を行い、住民に対し、雑古紙拠点回収の推進・町単独でのマイバッグ配付事業などを行う。

なお、クリーンセンター

は、竣工から20年が経過している。毎年改修工事を行っているが、各部に傷みが目立つ。9月までに長寿命化計画を策定し、平成23・24年度に大規模改修を予定している。

考察

クリーンセンターは、住民にとって生活の基盤であり、しっかりと整備していかなければならない。安定的な運転を確保するための長寿命化計画を策定する中で、焼却残渣を少なくする手法も検討してほしい。

スマートIC周辺開発の課題を再調査 東毛広域幹線道路を町の発展の核に

経済建設常任委員長

島田 栄一

当委員会は、5月10日
県内の道の駅及び物産館を3カ所視察した。

調査経過

関越自動車道と東毛広域幹線道路の交差点地点でできるスマートICは、平成23年度末までに完成が予定されている。

現在工事は順調に進捗している。運用開始に合わせた周辺開発の課題について、前回に引き続き調査した。

農畜産物直売所「味菜」

(前橋市)

産業廃棄物処分場の還元施設として、広大な土地と駐車場、温泉施設が整備されている。

道の駅「白井宿ふるさと物産館」

(渋川市)

国道17号鯉沢バイパスの

開通により、膨大な交通量の沿線に位置しており、集客条件は抜群である。

道の駅 よしおか温泉物産館「かざぐるま」

(吉岡町)

温泉施設とケイマンパークゴルフ場が併設されており、集客対策が図られている。

考察

スマートICが平成23年度に完成し、平成27年度に東毛広域幹線道路が全線開通すると、玉村町の交通事情は一変する。玉村町の中央を東西に横断するこの道路は、将来の玉村町の発展の核として注目されるところである。

このような状況の中、道の駅、物産館の設置構想は理解できる。十分検討しながらよい方向を見出すことを希望する。

玉村町クリーンセンター



道の駅 よしおか温泉物産館「かざぐるま」



先進地前橋市の現状を視察 学校給食費の収納率アップに向かつて

文教福祉常任委員長 村田 安男

当委員会は、県下でも最下位に近いと言われて

いる学校給食費の収納率向上を図るため、5月11日先進的に取り組む前橋市の現状を視察した。

調査経過

前橋市が、収納率アップのために昨年度取り組んだことは、次のとおりである。教育委員会総務課が中心となり、給食センター・学校と連携し、班を編制、通年で戸別訪問を実施し、滞納整理を行った。

- ・ 悪質な滞納者への法的措置（支払督促）の実施
- ・ 関係部署と連携し、公的扶助（生活保護費・就学援助費）に関わる給食費控除の徹底
- ・ 集金方法の変更（未納額が多い学校は、口座引き

落としから現金集金へ）

取り組みの結果、前年度は640万円だった滞納金額が、353万円に減少。収納率は99・75%に改善された。

考察

玉村町でも、ここ数年収納率が低下している。行政サービスの公平・公正を進める観点から、学校給食費の収納率低下は憂慮すべき課題である。

情報の共有化を図るとともに、関係部署が一丸となつて収納率アップに取り組む必要があると考える。



玉村町学校給食センター

平成22年度 区長会・議会合同研修会

6/15

区長と議員が町の課題を検討



梅雨に入ったばかりの6月15日、区長会と議会との合同研修会が、玉村町役場で開催されました。この研修会は、年1回開催しているものです。町からは、平成23年度からスタートする第5次総合計画や、協働推進センターの事業内容が説明され、その後、23年度に開通となる東毛広域幹線道路玉村工区の進捗状況についての解説がありました。

続いて議会から、各委員会の取り組みや視察研修などについて、各委員長から説明を行いました。

その後は、雑古紙の回収や、福祉、県央水質浄化センター等の質問が区長から出され、活発な意見交換会となりました。

この合同研修会は、区長や議員が一緒にあって町の取り組みや課題を認識し、町の発展のためにどのように取り組んでいくのかを検討するよい機会となっており、有意義な研修会となりました。